

第3回 理事会 報告

開催期日：平成30年10月 4日 福岡県ボランティアセンター
発行期日：平成30年10月 9日 [事務局長：稲尾]

進行 (重野副会長)

1 開会のことば (山元副会長)

2 会長挨拶 (永原会長)

・連日お願い事ばかりですが、それぞれの場面でご活躍くださり、感謝しています。2週間後には、鹿児島県でキャラバン活動がありますが、皆さんのご協力をいただき成功させたいが、できる時に、できるだけで結構ですのでよろしくお祈りします。また、会議等欠席の場合は、情報の共有をお願いします。

3 協議事項 進行 (永原会長)

(1) 第2回市町村代表者会議 (案) について (宮崎委員長)

・開催日、開催場所は、記載のとおりである。研修テーマについては、3つの中から選んでほしいがブロックで決めても構わないとの提案があった。【承認】

(2) 陳情対談の重点項目について (宮崎委員長)

・11月13日の県教委等との対談会における重点項目について、児童生徒の安全面を配慮した6項目とすることについて提案があった。【承認】

(3) “新”家庭教育宣言実践報告会について (峯委員長)

・趣旨、日程、会場は記載のとおりである。発表数を4つに減らし、講演を復活させた。発表校はこれから決定するとの提案があった。【一部承認】

(4) 通学路の交通安全研修会について (倉掛委員長)

・初めての研修会である。内容については要項 (案) のとおりであるが、基調講演のテーマはこれからである。県警のデータや国交省のビックデータを活用するよう要望が出た。【一部承認】

(5) 平成31年度会長・副会長研修会について (本田委員長)

・目的、日程、分科会の数について提案があった。テーマ、講師については検討中であるとの説明があった。おやじの会サミットを分科会に入れる要望が出た。12月の理事会で協議する。【一部承認】

(6) ブロック研修会実施計画・予算について (重野副会長)

・6ブロックの計画書、予算書、実施要項等についての説明と提案が一括してあった。【承認】

(7) 70周年記念式典、記念誌の編纂について (重野副会長)

・2～3月の金曜日夜に記念式典及びレセプションを200人規模で福岡市内のホテルで計画する。記念誌については、たたき台のとおり10名程度で行委員会を設置し制作する。予算は、300万円程度を考えている。【承認】

(8) 「いじめ防止標語コンテスト」について (重野副会長)

・応募についての文書は、発出済。実施要綱の説明があり、冬休みの宿題等で取り組んでほしい。優秀作品については、春休み期間に東京での表彰式に招待がある。【承認】

(9) その他 (岡監事)

・各ブロック研修会の県Pの説明の中で、福岡大会のアピールする時間を確保したい、との申し出がある。広報部会と十分協議して実施するよう指示があった。【承認】

・昨年の九州北部豪雨に対する義援金の募集を打ち切り、残金約300万円については、朝倉市郡へ配分した。これまでの支援に感謝している。(坂口副会長)

3 報告事項

(1) 日P・九P・県P・各委員会活動

・報告なし。

(2) 委嘱関係

・報告なし。

(3) 各委員会の活動状況について

①総務委員会 (宮_委員長)

・第3回委員会では、陳情対談会における重点項目の検討及び第2回市町村代表者会議の研修テーマについて協議を行ったとの報告があった。また、任意加入、PTAの意義について意見を交わした。

②広報委員会 (秀村副委員長)

・第3回委員会では、PTA新聞9月号の校正と11月号の企画編集をし、ストップザ非行、三行詩入選作品及び陳情書提出を掲載、三行詩の応募の偏りや地域の食など興味を持てる記事を掲載したい、との報告があった。

③安全・調査委員会 (倉掛委員長)

・第3回委員会では、8月に実施した「stop・ザ・非行ふくおか 福岡県大会」の反省会と通学路交通安全推進研修会について協議した。第4回を9月29日に開催し、通学路の安全研修会のスケジュールを確認した。

④家庭教育委員会 (峯委員長)

・第4回委員会では、実践報告会の内容を協議し発表校を4校とすること講演会を実施することを協議した。

⑤研修委員会 (本田委員長)

・第2・3回会議を行い、会長・副会長研修会について協議し、日程、会場、目的等を確定し、分会会の数、テーマ、講師について検討した。との報告があった。

⑥ホームページ管理運営委員会

・報告なし。

(4) Stop・ザ・非行ふくおか 福岡県大会について

・458名の参加があり、成功だったと考える。アンケート調査では、終了時間を守ってほしいとの意見があった。来年度は北九州市で開催されるので、北九州、筑豊、京築に動員をお願いする。

(5) 母親代表者研修会について

・238名もの参加があり、大盛況であった。アンケートでは同じ学校からの参加者が同じテーブルでないなどリーダー研修とは思えない感想などあり、来年度からは手法を検討する。

(6) 四P教育交流会について

・特になし。

(7) 全国PTA広報紙コンクール審査結果について

・県コンクールの優秀作品を日Pに推薦した中で、飯塚第二中学校が佳作に選ばれ、表彰される。

(8) 日P「国内研修事業」について

・非常にいい事業であるが、学校に文書を出しても周知が難しい。

(9) 九P鹿児島大会キャラバンについて (岡歓迎部会長)

・キャラバン隊編成の責任者等の異動者について説明があった。バスと新幹線の乗車地は取りまとめ中である。

(10) 後援依頼について (事後承認)

・①～③については、例年後援している。④については、今回初めてであったが、内容に問題がなかったので、会長と事務局長の協議で可とした。

5 連絡事項

・ソフトバレーボール大会について、来年度の九P福岡県大会機運醸成のために実行委員会主催で開催することを承認した。

6 講評 (岡、福元監事)

・「子ども」の標記を統一すること。国内研修等周知が十分でないので、案内を早く発出すること。
・飲酒運転が後を絶たない。懇親会の冒頭に注意することとハンドルキーパーに勧めないことを徹底すること。

7 次回開催

平成29年12月8日(土) 16:00～

8 閉会のことば (坂口副会長)